- 1.NPOの人材確保と定着
 - 1) NPO は人材不足

理由

- · 認知度不足
- ・ 労働条件が悪い

事業体内の研修システムの不在

人事・労務管理の不在

- 2)人材確保のルート
 - ・人脈
 - ・ 新聞などの媒体活用
 - ・ ハローワーク (ほとんど利用しない)
- 3)人材育成

特段の対処なし: NPO 中間支援団体の役割重大

4)人材のリスク

NPO の最大のリスクは創業者

プラス面

マイナス面

- 2.条件整備
 - 1) NPO のマネジメントの強化

NPO の実態の小ささ

年間1000万円以上のNPOは3~4割程度

マネジメントの必要性の認知が進む

収益事業の展開能力の確保

2)社会的な環境整備

法制度(事業関連:移動サービス、「有償ボランティア」の認知など)税(優遇制度が必須、住民税の1%をNPOへ寄附<市川市方式>)新制度の動き(仮称「非営利法人法」)

3) 自治体、企業、労組とのコラボレイト

自治体の非常識(NPOの人件費を年間150万円~250万円、

時給700円程度で当然と思っている)

企業の社会貢献の対象だけではなく、ビジネスパートナーとして 労組は NPO に近い存在。パートナーシップを組みやすい